



農地再生レポート通信



発行：福島県耕作放棄地対策協議会 編集：福島県農村振興課 TEL024-521-7415 FAX 024-521-7545 E-mail:nosonshinko@pref.fukushima.lg.jp



遊休農地等の再生利用に活用できる事業を紹介します。



国事業

- **農地整備等と併せて荒廃農地の解消を実施**
 - ・ **基盤整備事業（各種）**
 - ・大規模(5ha以上)な基盤整備の実施
- **担い手に農地集積を図るため、荒廃農地の解消・発生防止のための簡易な整備を実施**
 - ・ **農地耕作条件改善事業**
 - 【要件等】事業費200万円以上、受益者2者以上等
 - 【補助率】定率助成 1/2等
- **集落の共同活動で遊休農地の発生防止、解消を実施**
 - ・ **多面的機能支払事業、・中山間地域等直接支払事業**
- **地域ぐるみの話し合いを通じて、最適土地利用計画等を策定し、荒廃農地等の有効活用や低コストでの農地の粗放的な利用をモデル的な取組を実施**
 - ・ **最適土地利用対策（農山漁村振興交付金）**
 - 【補助率】1/2以内、定額等 【実施期間】2～5年間
 - 【要件等】・5年間耕作又は**粗放的利用**の実施
 - ・実施面積5ha以上、整備面積0.5ha以上等
 - 【事業実施主体】市町村、地域協議会等
- **農地中間管理機構が農地の集積に合わせて遊休農地を解消**
 - ・ **遊休農地解消緊急対策事業【農地中間管理機構】**
 - 【対象農地】農振農用地区内のうち草刈り等の簡易な整備で解消可能な1号遊休農地(緑区分)

県事業

- **市町村等が策定する再生利用計画に基づき、作物生産等を再開するために行う遊休農地の再生作業等の取組を実施**
 - ・ **遊休農地等再生対策支援事業**
 - ・草・灌木の刈払、樹木の伐採、抜根など障害物除去、深耕、整地作業の費用補助
 - ・条件改善整備のための暗きょ排水、客土等の費用補助
 - 【要件等】・事業費が10a当たり3万円以上の経費を要し、かつ200万円未満(1集落)等
 - ・再生した農地を活用する利用者は、利用権設定等により5年間以上耕作を継続
 - ・遊休農地等の解消を目的とした国及び県の補助事業の対象とならない農地等
 - 【補助率】定率 1/2 以内(補助上限 100万円未満)
 - 【事業実施主体】市町村、農業委員会、地域協議会

◎令和4年度事業について、詳しくは県ホームページ（農村振興課）をご覧ください。（URLは下記のとおり）
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36045b/saiseisien.html>

～教えて【農地の粗放的利用】～



粗放的利用ってなんですか？

あまり労力やコストをかけずに農地を利用する方法です。

たとえば、放牧、蜜源作物（蜂蜜を採取できるナタネ・レンゲなど）、緑肥作物（レンゲ・ヘアリベッチなどの地力維持を図る作物）等の取組が考えられます。



なぜ、粗放的利用に着目するの？

人口減少や農業者の高齢化による担い手の不足で、農地の維持管理が難しくなり遊休化していく現状がある中、労力やコストを抑えながら農地を管理していくことも重要です。

今後ますます、こうした農地利用の方策も考えていく必要があるのではないのでしょうか。



※ R4 最適土地利用対策 低密度の植林を行い鳥獣緩帯としての機能をもつ計画的な植林への支援を拡充予定。

～離農・高齢化が進み農地が山林化の懸念～
遊休農地を再生し、花咲く景色の里山創造に取り組む集落を支援

事業概要

事業実施
主 体

・福島県郡山市

実施地区
(集 落)

・古町集落 (所在: 郡山市湖南町福良字
若宮及び字川原田)

総事業費
解消面積

・総事業費 500千円 (10a当たり単価
・解消面積 52a(田・畑) 約96千円)

取 組 者

・認定農業者

取組集落
の 選 定

・遊休農地は少ないものの、山沿いで、荒廃が進み再生利用困難な農地が多く、遊休農地を早急に解消しなければ山林化が懸念されるため、取組集落として選定。

荒廃の状況

・雑草の繁茂が相当にあり、雑木が侵入しているところがある。



集落での
取組の
きっかけ
・
今後
の
展 開

- ・数年前まで、集落の山沿いにある畑は、近所の農家さんの野菜作りで毎日利用されていましたが、高齢化により離農が進み、ススキが生えたり、イノシシが寄りついたりして徐々に荒廃してしまいました。集落では、周辺農地への影響を懸念し、その対策を湖南高校の生徒と共に里山再生として企画、遊休化した農地の再生利用に取り組むこととしました。
- ・国道294号バイパスの開通を数年後に控えていることや布引高原や猪苗代湖を訪れる観光客が増加傾向であることから、ここを通りがかった人に、美しい里山の風景を味わってほしいとの思いで取り組んでいます。
- ・再生した農地には、集落みんなで播いた菜種が初夏に黄色い花を咲かせ、また、湖南高校生が播いた秋蕎麦が秋に白い花を咲かせて、その景色はバイパスを通る車窓からの美しい眺めになると思います。
- ・数年後には、規模を拡大してバイパス沿線の農地を花で飾り、郡山市のPRになるような観光スポットにしていく予定です。

再生作業

- ・取組者が所有する機械で、草刈り・雑木の除去、深耕プラウ、ロータリ耕耘、土地改良資材の投入(ブロードキャスター)作業を実施。雑木の除去には一部重機(バックホー)を使用。

導入作物
・販 路

- ・【導入作物】 なたね
- ・【販 路】 令和4年8月に稼働する、米粉麵製造工場に納入し、湖南産のコメを製粉した米粉に菜種油を練り込み、グルテンフリーの米粉麵として発売する予定。

遊休農地対策

～補助事業の活用による遊休農地解消の推進(郡山市)～

・前年度(予算編成時)より郡山市内の認定農業者、認定新規就農者及び人・農地プラン代表者等に対し県事業の概要を配付して事業の趣旨等を周知し、農業委員会や県農林事務所と連携を図りながら、事業の活用による遊休農地の解消を推進しています。令和4年度は、遊休農地を活用して規模拡大等を進める担い手のいる集落を優先的に選定し、約2haの遊休農地の再生利用を進める計画です。

再生農地の様子

再生前



再生後



編集後記

国産原料にグルテンフリー！健康は食事からをモットーにする私は、「花より団子」「米粉麵」が気になってしまいました！ただ、きれいな景色を味わって心のリフレッシュも大事ななあ・・・「花咲く景色の里山」を訪ねたいと思いました。「米粉麵」発売日はいつかな～



※今後「農地再生レインボー通信」の配信を希望される方は、
nosonshinko@pref.fukushima.lg.jp までご連絡ください。